

総合的な学習の時間学習指導案（略案）

北広島町立大朝小学校
指導者 ○○ ○○


1 学年 第5学年 男子○名 女子○名 計○名

2 単元名 「ぴゅあ菜米を発信しよう」（20時間扱い）

3 本時の目標

「ぴゅあ菜米」の育成体験や、地域の方の「ぴゅあ菜米」に対する思いをもとに、自分たちで調べていく課題を設定することができる。

4 学習の流れ（2時間目／全16時間）

	学習活動	C 予想される児童の反応（◇ 指導上の留意事項◆ 配慮を要する児童への支援）	評価規準（評価方法）
導入	<p>1 これまでの学習から、どのような課題や気付きがあったか、自分の考えを発表していく。</p> <p>2 本時の学習のめあてをつかむ。</p>	<p>◇ 「ぴゅあ菜米」を育てる体験活動や、地域の人のお話を聞くなかで見つけた気付きや地域の課題について、事前に考えたものを一人ずつ発表する。</p> <p>C 耕作放棄地が増えている。 C 二酸化炭素が増えて地球温暖化している。 C 地域の人口が減っている。 C 昔と今とでは、農業の方法が変わってきている。</p> <p>◇ 調べたらよいテーマが幾つもありそうだという見通しをもたせる。</p>	
	<p>体験や教えてもらったことをもとに、調べ学習の目的・方法・内容をまとめよう。</p>		
	<p>3 地域の農業が抱える課題例を知り、地域の農業に対する課題意識を高める。</p> <p>4 「活動1」で出し合った課題の中から、自分が課題として設定したいテーマを選ぶ。</p>	<p>◇ 例として「耕作放棄地」を挙げる。写真を示して、理由を問いかける。</p> <p>C 農業をする人が引っ越してしまった。 C 農業がしんどいから辞めてしまった。</p> <p>◇ この問題について調べたり、理由を見つけたりする方法のアイデアを出し合う。</p> <p>C 持ち主にインタビューする。 C 実際に大朝にもあるか見つける。 C どのくらい増えているのか調べる。</p> <p>◇ 「耕作放棄地」を減らしたいという地域の方が話された願いを想起させる。</p> <p>◇ 同じテーマを選んだ児童で小グループを作らせる。</p>	
			<p>「ぴゅあ菜米」の体験活動をもとに、地域の課題や環境問題などに目を向け、自ら調べたいテーマを見出している。（活動計画、ワークシート）</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">言語活動の充実 展開</p>	<p>5 話し合っ、調べ学習の計画を立てる。</p> <p>(1) 小グループでの検討</p> <p>(2) 全体発表を行い、相互に質問をして検討</p>	<p>◇話し合う観点を示し、小グループごとに調べ学習の計画について検討させる。</p> <p>【話し合う観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調べる目的 (何を考えたいか) ○調べる方法 (インタビューやインターネットの活用) ○調べる内容 (何を明らかにしたいか) <p>◆興味をもった内容が、問題意識と結びつきにくいものもあると思われるが、適宜助言を行い、目的意識をもたせていく。</p> <p>◇計画について、要点を箇条書きなどの方法でホワイトボードに記し発表していく。</p> <p>◇他グループから、話し合う3つの観点が明確であるかに着目して質問させる。</p> <p>◇別のアイデアなどもあれば、出し合って交流する。</p>	<p>話し合いを通して、調べる目的、方法、内容を明確にし、書きまとめている。</p> <p>(行動観察、ホワイトボード、ワークシート)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ</p>	<p>6 本時の学習のまとめを行う。</p> <p>7 本時を振り返り、次時につなげる。</p>	<p>◇話し合いを受けて、調べる目的、方法、内容を書きまとめさせる。調べたことを発表した際に、聞いた人にどのように感じてほしいか想像し、意欲につなげるようふりかえりを書かせる。</p> <p>◇次の時間から、計画に沿って調べ学習を行っっていくことを伝える。</p>	

(5) 板書計画

